

今年も桜の時期が終わり、夏が近づいてきました。

この頃になると、ヨットに乗りたい…という人達が増えてきます。

でも初めてヨットに乗る人は、環境が理解できません。

ムームー姿にビーサン…という格好で悪い訳じゃありませんが、なんとなく相応しくない格好です。そんな訳で、初心者の方への「招待状」を作ってみました。

1996年夏。

招 待 状

セーリングクルーザー《Something》に、いらっしやいイ〜…!!。

《Something》では、みなさんに「楽しい海の日」を過ごして貰いたいと思っておりますが、それでも、ヨットは自然の中で行なうスポーツですから少しばかりの制約・規則があります。以下の事を守って Good-Sailing-Day を楽しんで戴きたいと思っております。

- (1) 日 時 ◎○月■▲日 午前◆□時●☆分
- (2) 集合場所 下記地図参照
- (3) 服装・持ち物

作業を手伝っていただきますから「動きやすいスポーティーな服装」をお願いいたします。ヨットも一応スポーツなんです。

●靴はなるべく白いゴム底のヒールの無いスニーカーを着用の事。市販のキャンパスのテニスシューズ、デッキシューズ等が好ましいです。ハイヒール、皮靴、サンダルなどはもつてのほかです。また赤とか黒の色のついたゴム底だとデッキにゴムの色がついて落ちなくなってしまうのです。

●夏はショートパンツ・Tシャツでも良いのですが長ズボンと長袖トレーナーくらいはバックに入れて持ってきて欲しいです。濡れてもすぐ乾く化繊のトレーニングパンツなんかがいいでしょう。ジーンズはその点最悪です。またウエストを締め付けるような窮屈なぴったりした服装は船酔いしやすいのです。

●ウインドブレーカ等の軽い防風・防寒着。

●各自の荷物はデイバックまたは布製バック等に必ず1つにまとめる事。

●冬期はSKIウェアがGoodです。

●出来たら簡単な上下別になったビニールカッパ。

●万一濡れてしまった場合の着替え。(下着・上着・パンツ等)

●夏の暑いときは帽子が有効ですが、必ず紐を付けてください。

《ご注意》 女性は、ご本人のスタイルならびに財布の許す範囲内で出来る限り美しくかつ魅力的に装っていただきたい…とみんなが思っています!!(笑)。

ウルトラ・ビキニ、ハイレグ、Tバック、オーバック、Iフロント等の水着は大歓迎です(笑)!!。

(4) 食 事

各自持参でお願いいたします。ピクニックへ行くような食事の用意が出来れば最高です。航海中は片手で食べられるものが便利で、停泊中はパーティー料理とか冷えたワイン等がGoodです。

夏は缶ビールとか水割等も美味しいですが、真昼間はジントニック、ジンライム等が夏の雰囲気盛り上げてくれます。

アイスBOX及び氷は《Something》側で用意してあります。

(5) 船上の心得

- ・艇へ乗船する前には靴の底の砂、土等を必ず拭って下さい。靴が滑って危険な事と艇を汚さないためです。キャビン内は土足OKです。
- ・艇の上では艇長の指示に従ってください。「脱げ」と言ったら脱いで下さい(笑)。
- ・艇のデッキ上のロープ類は絶対踏まないでください。滑って危険です。
- ・日焼け止め、日焼け用クリームは油性のものは使用しないでください。手に付いたクリームで滑って危険です。ヨットは傾いて帆走します。
- ・どんな大きなヨットでもデッキにはお客様のためのスペースはありません。全てが作業スペースです。クルーと一緒に行動していただきます。
- ・腕時計、眼鏡、イヤリング、帽子、カメラなど海へ落としてしまったものは一切回収が不可能です。各自が紐を付けるなど注意をお願いいたします。
イヤリングは要注意です。

(6) 乗船の選択

船に慣れていない方が船酔しやすいのは当然ですが、自信のない方は出港前に申し出ていただいて次の四つの中から一つを選択していただきます。

- ・どんなに苦しくても我慢する。
- ・船酔防止薬（但し効果不明）を飲んで早めにキャビンで寝てしまう。
- ・乗船しないでポンツーン（栈橋）等で待つ。
- ・酒を飲んで先に酔っぱらってしまう……!?(帆走中は危険である)
但し、前夜は睡眠を十分とり、飲酒をなるべく避けていただければ、かなりこのトラブルを避けることができます。

(7) 苦情処理

せっかく《Something》に乗られても、しばしば次のような状況になることが考えられます。そのような場合には一切苦情を言わず、われわれと一緒にトラブルを楽しんでいただきたい。一人の弱音、不平が船内の雰囲気を壊しクルーの「やる気」を傷つけてしまうのです。あなたは団体スポーツに参加しているのです。

